



金沢大学ボランティアさぽーとステーション

ボランティア支援活動報告

西村省吾 尾関純一 喜多見浩介 小上防健太 上原爽世花 矢野樹里
顧問：原田魁成

2024年7月21日 能登町役場
のと里山里海未来創造シンポジウム

目次

01	第2回報告会までの活動実績	3
02	現在取り組み中のボランティア活動	
	ーボランティア活動実績	4
	ー災害復旧活動	6
	ー傾聴ボランティア	10
	ー被災地で居住される方への支援	11
	ーその他のボランティア活動	12
	ーボランティア活動をする上で感じている課題	13
03	今後の活動予定	14

01 第2回報告会までの派遣実績

災害派遣ボランティア活動



2024年2月20日～4月20日
で計9回の派遣、延べ200名が参加

- ・七尾市8回
- ・能登町1回

活動内容
災害廃棄物の運び出しや解体など

傾聴ボランティア活動



金沢市内に2次避難されている
方を対象とした傾聴ボランティア
○「あつまらんけ～のと！」
○「行くまいか！交流会」*
へ延べ33名が参加

*東日本大震災の支援者団体
「11の会」と共催

避難所での生活支援活動



○田上新町での被災者の方への
炊き出し支援(延べ15名)
○1.5次避難所で生活される方への
支援活動*(延べ90名)
などに従事

*金沢大学生・教職員の方々と共
に配膳や清掃、傾聴などに従事

その他の支援活動



○「能登雪割草まつり」(門前町)
での運営支援(2名)
○金沢駅前での街頭募金ボラン
ティア*(延べ9名)

*石川県防災士会・石川県災害
ボランティア協会や地元の小中
高校生と合同で実施

ボラさぽ以外の学生や教職員の方を含む、延べ349名の方が活動に参加

02 能登半島地震に関わるボランティア活動実績

実施中のボランティア活動

- ・災害復旧活動
- ・傾聴活動
- ・炊き出し支援
- ・被災児童支援
- etc...

活動内容 (1/1～7/21)	参加人数
被災地での災害 ボランティア	516人
傾聴ボランティア	70人
仮設住宅居住者の方 へのご支援	8人
炊き出し支援 街頭募金等	142人
合計	736人

ボラさぽ以外の学生や教職員の方を含む、延べ736名の方が活動に参加

災害復旧活動の派遣回数

派遣回数	活動日時	派遣場所
第1～8次派遣	2024/2/22-2024/3/30	七尾市
第9次派遣	2024/4/20	能登町
第10次派遣	2024/4/30	輪島市重蔵神社
第11次派遣	2024/5/3	輪島市重蔵神社
第12次派遣	2024/5/4-5	輪島市門前町
第13次派遣	2024/5/5	輪島市重蔵神社
第14次派遣	2024/5/6	輪島市重蔵神社
第15次派遣	2024/5/11	輪島市, 志賀町
第16次派遣	2024/5/18	輪島市
第17次派遣	2024/6/9	能登町
第18次派遣	2024/6/11	七尾市
第19次派遣	2024/6/16	珠洲市
第20次派遣	2024/6/25	七尾市
第21次派遣	2024/7/6	輪島市重蔵神社
第22次派遣	2024/7/14	輪島市深見町
第23次派遣	2024/7/15	能登町, 輪島市など
第24次派遣	2024/7/20	輪島市, 重蔵神社

←能登町での初の活動

←重蔵神社での初の活動

←輪島市ボラセンでの初の活動

←教職員の方々が多くご参加して下さるようになった

←珠洲市ボラセンでの初の活動

←深見町での初の活動

能登半島地震以降
計24回の派遣を行いました

災害復旧活動 [能登町での活動]

姫地区での活動



← 被災者の方と被災品の分別を行いました

被災品の運搬作業を行いました →



内浦総合運動公園での活動



← 津波に浸食された内浦スポーツ研修センター

中心部で折れた電柱が半年経っても残ったまま(活動日7/15)



← 津波による漂流物を廃棄物として撤去しました

災害復旧活動 [珠洲市での活動]

6月16日 若山地区での活動



← 珠洲市ボランティアセンターの様子

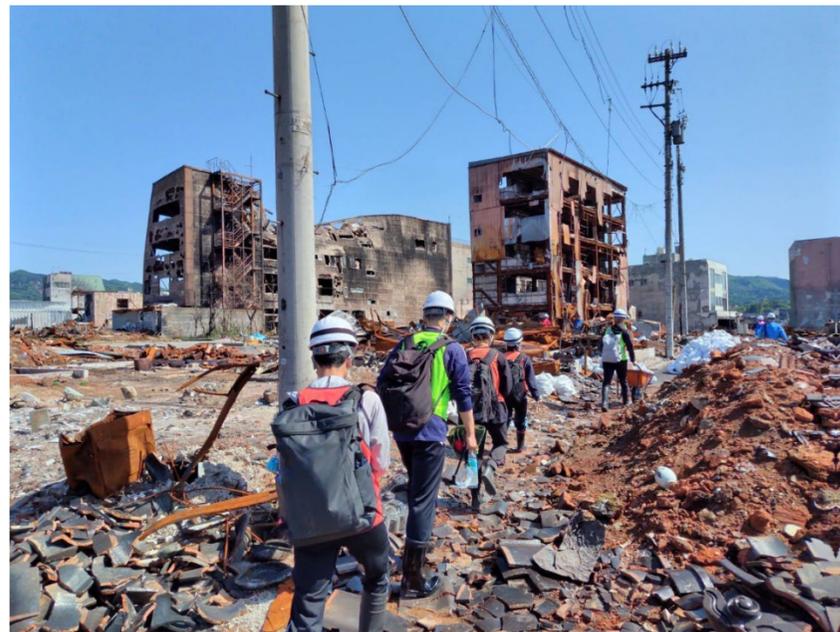


↑ 瓦やブロック塀を軽トラに積み込み、金沢大の教職員の方々に運搬していただきました



災害復旧活動 [輪島市での活動]

朝市通りでの被災品の
分別や探索活動



被災品の運び出し作業
(金工大、北陸大と合同実施)



早稲田大学平山邦夫記念ボ
ランティアセンター(WAVOC)と
の合同ボランティアの実施



↑

- ・輪島市重蔵神社でのお社の解体
 - ・能登町の個人宅における災害廃棄物の運搬
- などの活動と一緒に行いました

災害復旧活動 [輪島市重蔵神社での活動]

全壊したお社の解体、廃棄物の運搬

解体前



安全に注意して
解体作業に従事



解体後の跡地に
仮本殿が設置
されました！



他団体が実施する生活支援物資配給の支援活動



↑ 支援物資受取の列
↓ 配給のお手伝いをしました



ボランティアの活動拠点の整備



↑ 留学生と一緒にテントを設置(7/15)
↓ 1棟目完成時の集合写真(5/11)



傾聴ボランティア

金沢市内へ2次避難されている方々への傾聴活動を継続実施

○あつまらんけ～のと！（主催：金沢市社会福祉協議会）

3月中に延べ15名が参加、6月以降は週1回平均2名のペースで現在も継続支援中

○行くまいか！交流会（共催：11の会*、ボラさぽ）

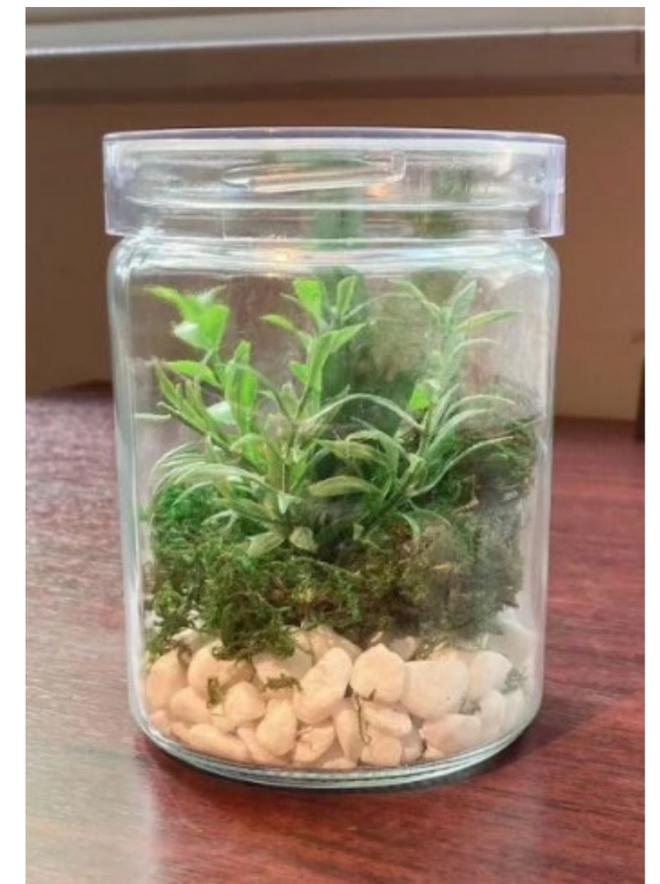
3月中から月4回平均3～4名のペースで現在も継続支援中

*11の会（東日本大震災で北陸に避難されてきた方とその応援者の方々の会）

☆継続した支援で被災者の方々にも顔を覚えてもらえ、能登での生活や現在の暮らし等について教えてもらえたり、プレゼントをもらえたりしました



↑
「あつまらんけ～のと！」
に一人で来られた被災者
の方とお話をしました
(6/7)



↑
「行くまいか！交流会」で
ボトルアクアリウムを製
作しました(7/7)

被災地で居住される方への支援 (石川県災害ボランティア協会と合同実施)

炊き出し活動の支援



輪島市河井町のふらっと訪夢でやきとりや綿菓子、焼きおにぎりの炊き出し支援を行いました



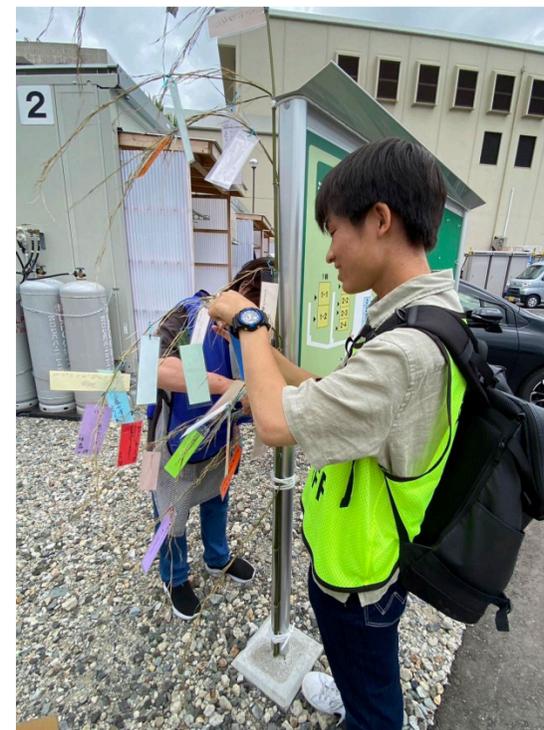
地元の中学生たちにも喜んでいただけました



仮設住宅の訪問



輪島市河井町の仮設住宅で支援物資の配給や傾聴活動などを行いました



七夕の日の活動では短冊を設置し、皆さんに願い事を書いていただきました

その他のボランティア活動

能登町八ヶ崎海水浴場の清掃活動
(石川県中小企業同好会と合同実施)



← 活動場所となった
海水浴場の様子

中小企業同好会や地
元の方々と一緒に清
掃作業を行いました →



能登町古民家能登屋での被災児童お泊り会
(NPO法人リエラと合同実施)



← 活動場所となった
能登屋の様子

子どもたちとオセロを
したり、海岸沿いを歩
いたり、一緒にご飯を
作ったりしました →



支援活動を通じて感じていることや課題

感想

- 発災から半年もの時間が経過してるが現地で復興が進んでいる実感は少ない
- 活動先での運転手の不足
→災害廃棄物をゴミ置き場へ運搬するトラックを運転するには、教職員の方々のご協力が不可欠
- ボランティアセンターの縮小とご支援内容の変化
→今後は中規模派遣に加え、支援活動先の分散や多岐化が必要



課題

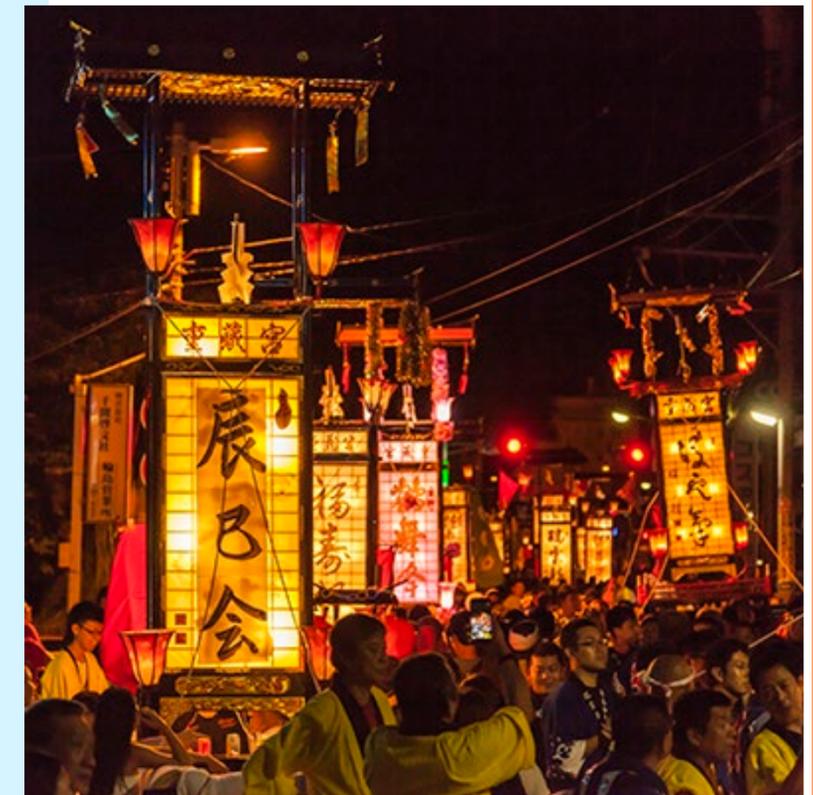
- 大学生だけでは信用力が薄い場合がある
→実際に災害ボランティアの際、学生だけのグループ活動はNG、引率は誰かと聞かれたこともある
→支援活動を広げていく上で必要に応じて大学のお力添えをいただきたい、あるいは既存のコネクションがあれば情報共有いただきたい
- 県内外の学生・教職員・支援団体様との連携が重要
→支援活動が多岐化していく上で、他団体の方々の方が支援方法を熟知している場合がある(傾聴、子ども支援など)。



今後の活動予定①

○直近1か月先の活動予定

- ・8月中に4回の災害ボランティア派遣(8/11,8/19,8/26,8/28)
→うち8/28は早稲田大学と合同実施予定
- ・市内での傾聴活動(あつまらんけ~のと！及び行くまいか！交流会)の継続実施
- ・大阪府立だいせん聴覚高等支援学校へのボランティアレクチャー会実施(8/9)
- ・石川県立看護大でのボランティア活動報告会(8/10)
- ・コンソーシアム石川でのボランティア活動報告会(8/10)
- ・輪島市での炊き出し支援の継続実施(石川県災害ボランティア協会と合同,8/14)
- ・キリコ祭り(主催:重蔵神社)でのキリコ担ぎ活動(8/17, 8/23)
...など



今後の活動予定②

○今後の予定

- ・金沢大学内の支援グループと連携支援体制の構築
- ・県内外ボランティア団体との合同ボランティアの継続実施
- ・傾聴ボランティアの活動拠点拡大
- ・仮設住宅など被災された方のコミュニティーへの支援活動の充実
(ミサンガなどのハンドメイド、ヨガなどの運動といったワークショップの実施)
- ・地域における防災力向上イベントの実施
- ・能登半島への心理的な距離を遠ざけないために能登半島の魅力を発信 ...など



学内外の学生・教職員の方々にボランティアへの参加を呼びかけ、複数の支援団体と連携し、今後も継続して被災地及び被災者の方へのご支援を行ってまいります



ご清聴ありがとうございました！